

川の流れと行き交う橋で 文化を受け継いでいくまち 江戸川橋駅

東京メトロ
有楽町線

神田川が流れ江戸時代から紙すきが盛んだったこの一帯は、出版社や本屋、印刷会社や製本所など、文化の担い手たちが集まったまち。そして今、新・旧の文化が継がれ、育っていくまちなのです。

1 印刷博物館

広くて深い印刷の世界を、
知って体感するミュージアム

古来人間が刻んできたビジュアル・コミュニケーションの足跡を、歴史的資料のレプリカでたどる“プロローグ”を経て展示室へ。常設展では、世界最古の印刷物「百万塔陀羅尼」や徳川家康の遺した国の重要文化財「駿河版銅活字」などの展示とともに、印刷の視点から捉えた日本と世界の歴史、そして印刷技術の発展を紹介。また技術体験できる印刷工房が設けられています。さらにバーチャリアリティ技術を駆使した「VRシアター」や、ライブラリー、ミュージアムショップと、一日いても飽きない見所がいっぱいです。



▲印刷工房
活字の文選から組み版作り、印刷まで活版印刷を実体験できるスポット。
◀常設展
日本と世界の印刷と文化の歴史を同時代で関連づけ、解りやすく紹介。

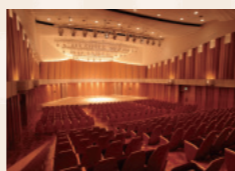


江戸川橋・江戸川公園
この辺りから飯田橋付近までを「江戸川」と呼んでいた名残が橋の名に。橋から関口台地の南斜面の神田川沿いにある「江戸川公園」は、春には桜が咲き誇るなど、変化に富んだ景観は散策におすすめです。



障害者支援施設 リアン文京
文京区内の障害者支援、老人福祉、子育て支援の施設と情報発信の場。「絆社会の実現を目指す」チームリアンが事業を行っています。1FのカフェBUNBUNには、障害者の方と焼く手作りパンが美味しいと、多くの方が訪れます。

神田川に架かる橋を行ったり来たり…。小日向の高台で、川沿いの町中で、文化と歴史の足跡を発見できるかも



トッパンホール
凸版印刷(株)が創業100周年を機に、文化貢献活動の一翼を担う目的で設立。世界でも稀な“響きすぎない”室内楽に最適なクリアな音響と、木の温もりに満ちた落ち着いた空間です。
〒文京区水道1-3-3
☎03-5840-2200



子育て地蔵尊
三方が台地で度々、川が氾濫したこの地。明治の初め流れ着いたお地蔵様を里人がお祀りして以来、子育て・商売繁盛、また戦災など大火を逃れたことから、「火防地蔵」として敬われています。

誌面で紹介したお店やスポットに
ターリーターキーの2人がおじゃまします!



あらぶんちよ散歩 [江戸川橋駅]

4月5日(月)～11日(日)

- ◎地デジ10ch 15:00～
- ◎地デジ102ch 23:00～
- ◎地デジ11ch 11:00～、14:00～、17:00～

◎YouTube

[あらぶんちよ! チャンネル]でも公開中!



※価格はすべて税込です。
※データは取材時のものです。内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※掲載店舗は通常マスク着用で営業していますが、撮影のため特別に外していただいています。



鰻重・上4,000円(肝吸い、香の物付)。香ばしくふっくら、鰻の美味しさを堪能できます。1階は椅子席、2階には座敷個室がありコース料理もいただけます。

2 うなぎはし本

テイクアウトOK

百八十年、変わらぬ味と場で暖簾を掲げる、うなぎの銘店

〒文京区水道2-5-7 ☎03-3811-4850
営業 11:30～14:00、16:30～19:30 L.O.
休 水(月1回)、木
https://www.unagi-hashimoto.jp/



◀6代目 橋本 信二さん

天保六(1835)年創業の老舗。180年継ぎ足されてきたタレは、さっぱりめ。それは、鰻本来の味わいを活かすため。問屋で目利きを学んだ六代目を選ぶ鰻は、香りから違います。味も店のもてなしも、価格に見合う納得、満足のお店です。



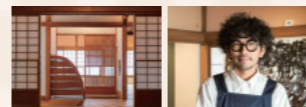
ギャラリー展示に合わせて変わる限定メニュー(取材時は焼き芋スイーツ800円)。自家製レモンスカッシュに伊良コラー800円。クラフトコラーを加えて味の変化を楽しめます。

4 そよや江戸端

テイクアウトOK

懐かしく新しい、暮らしと文化をつなぐ“まちのサロン”

〒文京区関口1-5-6
小日向31番地C室
営業 12:00～19:00
休 月・火
https://www.soyoya-edobata.com/



◀店長 白井 裕二さん(建築家でもあります)

地蔵通り商店街の、フルリノベーションした築70年の民家の2階にあるギャラリー&カフェ。レトロモダンな店内で、芸術作品に触れながら素敵なティータイム。「新しい人と商店街をつなぐ場としてまちの元気に役立てば」と語る白井さんです。



ぜいたく豚三味そば(左はテイクアウト)各800円。その他、各種チャンプルーやラフテー、グルクンの唐揚げ、もずくの天ぷらなどメニュー充実です。

3 沖縄そば・料理・泡盛 護佐丸

テイクアウトOK

ご近所さんに大人気! わがまちの沖縄料理屋さん

〒文京区水道1-5-16 ☎03-3818-9530
営業 11:00～14:00、17:00～22:00
休 不定休
*営業時間等は状況によって変わる場合があります。



自慢の“そば”から、沖縄の食材を使った、東京では珍しい本場の沖縄料理まで何でも美味しい! 平日は周りの会社の人、土日はご近所の家族連れと常連さんで賑わいます。店も住まいも、この地で20年。まちでお馴染みのお店です。

◀お店を営む田畑さんご夫妻



碁盤は国産かや榎目 六寸396万円。本給那智石の碁石セットは3万円位～。かやの木は碁石を打った時の感触がまろやかで疲れにくいのだとか。他に碁盤3,500円位～、将棋盤2,500円位～。

5 平井碁盤店

日本の文化・伝統工芸、囲碁・将棋は現在進行形です

〒新宿区山吹町366-1
☎03-3260-2972
営業 10:30～18:00
休 日・祝
https://www.hiraigobanten.jp/



◀代表取締役 平井 康彦さん

慶応二(1866)年、江戸伝馬町で創業。以来155年、囲碁・将棋の文化を守り続けています。「囲碁も将棋も日本の伝統工芸。守るためにも親しんで欲しい。頭にもコミュニケーションにも良いですよ」と平井さん。皆さんも、ぜひ!

文化と想いを伝え、残す未来への博物館

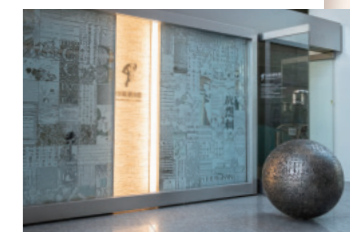
注目の人 印刷博物館 学芸員 中西 保仁さん



アナログからデジタルへという時代。紙離れが進むなか、印刷・出版が人類の歴史に果たしてきた役割を検証するための施設として、2000年に設立したのが印刷博物館です。この規模と内容は世界でも類がないと評価されています。その目的をさらに深めようと、昨年のリニューアルと同時に起ち上げたのが「印刷文化学」です。歴史的な事業も文学も、その想いを今受け取れるのは紙に残されたものがあるから。印刷と人間の関わりを文明的視点から捉え、それに携わった人類や社会の営みについてまで検証し情報発信する試みです。すでに第1回印刷文化学会議を開催し、「日本印刷文化史」という本も出版し

ました。こうした具体的アクションを行う拠点がこの博物館なんです。一方で印刷・出版は東京の地場産業でもあり、文京・新宿区はその数が多い。私もスタッフも仕事としての印刷、インキの匂いを知る人間です。その素晴らしさを印刷の中心地・文京で、次の世代に伝えていきたいと思っています。

企画展 「和書ルネサンス 江戸・明治初期の本にみる伝統と革新」
4月17日(土)～7月18日(日)
約300年にわたる江戸・明治初期の日本文学を振り返りながら、私たちの読書の源流にせまります。



印刷博物館

〒文京区水道1-3-3トッパン小石川ビル ☎03-5840-2300
¥1一般400円、学生200円、高校生100円
中学生以下および70歳以上無料
*企画展開催時は変更。詳しくはHPで。
*新型コロナウイルス対策のため入館は事前予約が必要です。
営業 10:00～18:00(入場は17:30まで)
休 月(祝・振休の場合は翌日)
https://www.printing-museum.org/